



レース専用パーツの取り扱いについて注意事項

※必ずお読みください

この度は、本商品をお買い上げいただきまして誠にありがとうございます。

ご使用の前に下記をお読みいただき正しくお使いください。

- 本商品は競技専用に製作されています。販売後の保証扱い等は一切お引き受けできません。
- 本商品を組み付けた車両は、道路運送車両法や道路交通法等に適合致しません。
したがって一般道路での走行はできませんのでご注意ください。
- 本商品を指定箇所以外への取り付けの場合は、部品の破損や転倒など、危険が生じることもありますので、おやめください。
- 取り付け作業をする際は安全のため、整備に適した作業着、帽子、安全靴を装着し必要に応じて、防塵眼鏡、防塵マスク、手袋等の保護用具を着用し作業を行ってください。
- 車体をスタンドなどを使用し、安定した状態で作業を行ってください。
- マフラー、エンジン、ブレーキ等はエンジン始動中及び停止後しばらくは高温になっています。
触れると火傷等の怪我や衣服等の可燃物が燃える可能性がありますので、その部分がきちんと冷えるまで人や動物が触れることが無いようにしてください。
また、近くにガソリンなどの危険物や燃えやすい物を置かないでください。
作業を行う際は、エンジンがきちんと冷えてから行ってください。
- 本商品の取り付けに関しては専門店に依頼されることをお勧めし、また整備士資格を有する方による作業を推奨します。
- 各レース及び各サーキットの規則に従ってご使用ください。（本商品が各レース及び各サーキットの規則に適合しているかはレース主催者にお問い合わせください。）
- 本商品に使用されている全てのボルト/ナット類（商品に組み込み済ボルト/ナット類を含む）は取り付け時に、必ず締め付け確認を行ってください。
締め付けは記載された規定のトルクにて確実にいき、記載のないものについては車両のサービスマニュアルもしくはボルト/ナット類のサイズ/種類に合った規定のトルクにて締め付けてください。締め付けが不確実な場合や組み付け不良等は走行中などに部品の脱落、事故等に繋がります。
- 走行前、走行後に各部のゆるみを確認し、必要に応じて増し締めしてください。
- ドライブチェーン、スプロケットなどの回転部分やブレーキ、クラッチレバー/ペダル等の可動部分に手や衣類等を巻き込まないように注意しながら作業を行ってください。
- ガスケット、Oリング、割りピン等は取り外し毎に必ず新品に交換してください。
- 製品包装のビニール袋等は、子供や幼児がかぶったり吸い込んだりしないように、手の届かないところに片付けるか、廃棄処分してください。
- 転倒歴のある車両では、取り付けることができない場合があります。

有限会社エンデュランス

〒 350-0822 埼玉県川越市山田 1726 TEL049-222-7770 FAX049-226-1625

endurance-parts.com

2020.03.30



ENDURANCE

WAVE110i, CZ-i, CUB110 BORE UP KIT E09130-KWB-A01

取扱説明書

このたびは本商品をお買い上げいただきまして、誠にありがとうございます。
ご使用の前に、この取扱説明書をお読みいただきいつも手元に置いて正しい取扱方法により
永くご愛用くださるようお願い申し上げます。

- 作業に入る前に必ず取扱説明書を熟読してください。
- 作業中は本書を手元の置き、指示に従って作業を進めてください。
- 本書は商品を廃棄するまで確実に保管してください。

ご使用の前に必ずお読みください。

- 本書は国家検定整備士資格を持った方を対象にしています。整備士資格をお持ちでない方は、信頼のおけるお店に取り付けを依頼してください。
- 本書は、取り付けにおける注意事項等を述べたものです。
本商品を取り付ける場合は、図を参考に作業をしてください。
- 弊社の指定する部品以外を使用した場合、本来の性能を発揮することが難しくなります。
- 取り付け前に本商品を洗浄油・パーツクリーナー等で洗浄してください。オイル通路・ピストンリング溝・ピストンリングは、必ず洗浄してください。
- サークリップ、ガスケットおよびOリングは再使用しないでください。
分解をした場合は新品を使用して下さい。
- エンジンを取り外して作業を行う場合は、エンジンスタンドを使用してください。
- 本商品を組み付け後、エンジンオイルは新品を注入してください。エンジンオイルはHONDA 純正オイルを使用してください。
- 使用燃料は、レギュラーガソリンです。
- オイル消費が多くなる傾向にありますので、走行前に必ずオイル量のチェック行ってください。
オイルが消費している場合には、必ず補給してから走行してください。
- 本商品はレース用部品ですので一般公道での走行は絶対に行わないでください。

●適合車種 WAVE110i, CZ-i, CUB110(JA07, JA10)※ 左記以外の車種には絶対に使用しないでください。

●仕様・排気量 124.5cc・ピストン径φ 53.4

●保証について

※本商品はレース専用部品になりますので、一切の保証はありません。

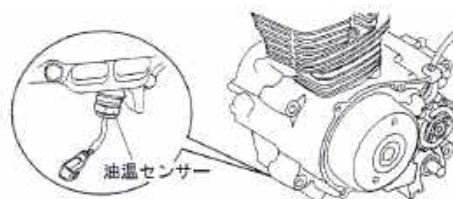
取り付けについて

以下に記載されている項目は、本商品の取り付けにおける注意事項等を述べたものです。
図を参考に組み込んでください。本商品に含まれていない部品は、再度使用します。
再使用するパーツにキズ、ヘタリ、磨耗の劣化が著しい場合は新品と交換してください。



注意

エンジンを取り外して作業を行う時はエンジンスタンドを使用して下さい。油温センサーがオイルパンに取り付けられた状態で床に直接エンジンを置きますと、油温センサーが破損する恐れがあります。



注意

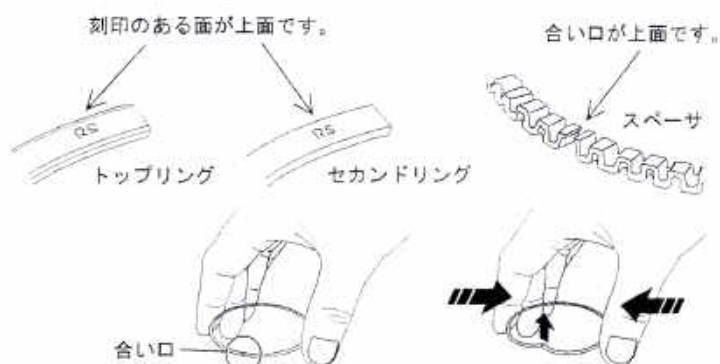
取り付ける前に、本製品を洗浄油・パーツクリーナー等で洗浄してください。
オイル通路・ピストンリング溝・ピストンリングは、必ず洗浄してください。

●分解の前に

- エンジンオイルを抜きます。
- 車両のサービスマニュアルを参照にしてSTDピストンの取り外しをします。

●ピストンリングセットの取り付け

1. ピストンリングとスペーサーの向きを確認します。
ピストンリングは、リングの内側がテーパーになっていて外側が白くなっているのがトップリング、外側が黒いのがセカンドリングです。(右図参照)
どちらも刻印のある面が上面です。スペーサーは合い口が上面です。
2. オイルリング(サイドレール)の向きを確認します。
オイルリングの合い口を密接させ、オイルリングの両面に軽く力を掛けます。
リングの合い口が反った面がスペーサー側となります。
3. 各リングにエンジンオイルを塗布し、スペーサー・オイルリング 2 枚セカンドリング、トップリングの順でピストンに取り付けます。



注意

ピストンにキズを付けないように取り付けてください。



注意

各リングの合い口は120° 間隔で取り付けてください。(右図参照)
各リングを破損させないように取り付けてください。



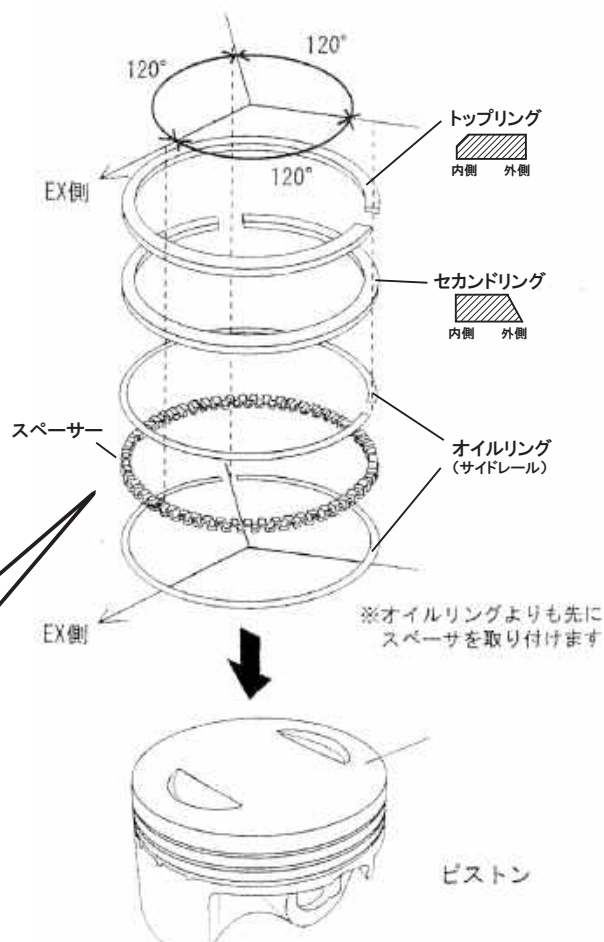
注意

合い口は絶対に重ねないでください。



注意

取り付け後、ピストンのリング溝内で各リングがスムーズに動くことを確認してください。



※ピストンの取り付け前に

本商品は出荷前に検査を行っておりますが、クランクケースの商品個体差によりスリーブがクランクケースに干渉することもあります。干渉した場合はクランクケースを分割しクランクシャフトミッションを取り外した後、干渉している箇所を削ります。※加工後は洗浄してから取り付けてください。



参考

クランクケースを加工する際には、クランクケース内部及びコンロッド小端部に削り粉が入らないようにウエス等で開口部を塞いでから加工を行うこともできます。

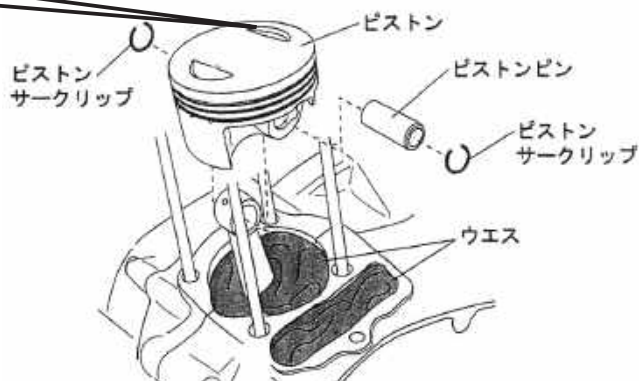


危険

“IN”の刻印がついている方が、インレット側です。

●ピストンの取り付け

1. シリンダー合わせ面のオイル通路に異物が入っていないか点検します。
2. ピストンピン外周部、コンロッド小端部及び、ピストンピン穴にエンジンオイルを塗布します。
3. ピストンをコンロッドに取り付け、ピストンピンを取り付けます。
4. ピストンピンクリップを取り付けます。



注意

ピストンピンクリップをクランクケース内に落とさないように、クランクケース開口部をウエスで覆って作業してください。

ピストンピンクリップはピストンの溝に確実に取り付けてください。

ピストンピンクリップの合い口は、ピストンの切り欠き部を避けて取り付けてください。

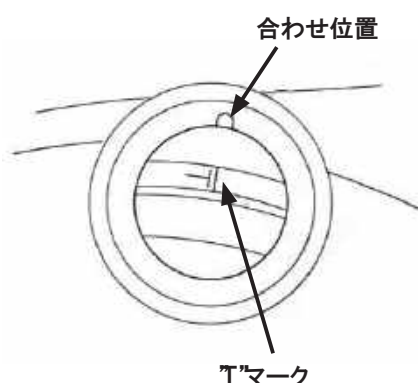
●シリンダーの取り付け

5. シリンダー内部、ピストン外周及び、ピストンリングにエンジンオイルを塗布します。
6. カムチェーンをシリンダーに通します。
7. ピストンリングを手で圧縮しながら、シリンダーを取り付けます。

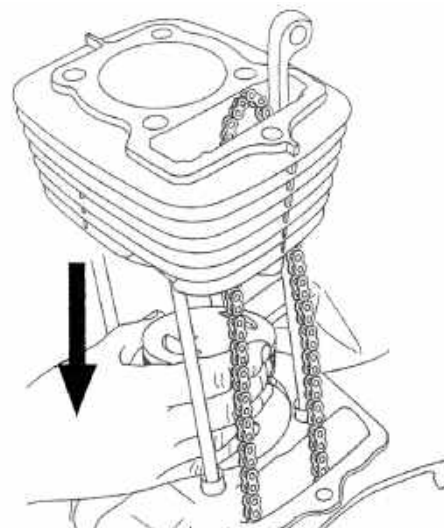


注意

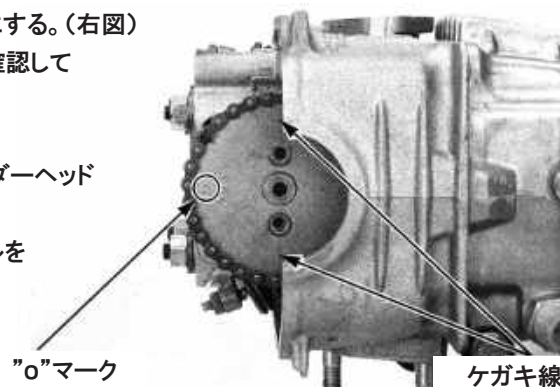
ピストンリングの破損及び、シリンダー内面の損傷に注意して取り付けてください。



8. シリンダーヘッドガスケットを取り付けます。
9. キックペダルを使ってピストンを動かしながら LH クランクケースカバー側にある確認窓から “T” マークを合わせ位置に合わせます。(左図)
10. シリンダーヘッドとカムシャフトを取り付けます。
バルブクリアランス I N 0.10 ± 0.2
EX 0.10 ± 0.2



11. シリンダーヘッド上面とケガキ線が揃うようにする。(右図)
“T” マークと合わせ位置が合っていることを確認してこの位置でカムプロケットを固定します。
(トルク 0.8 kgf・m)
12. 車両のサービスマニュアルに沿って、シリンダーヘッドカバーを取り付けます。
13. 残りの組み立ては車両のサービスマニュアルを参照にして組み立てます



注意

ガスケットは、必ず新品を使用してください。



ENDURANCE

WAVE110i, CZ-i, CUB110 BORE UP KIT E09130-KWB-A01

安全上の注意事項

ご使用になる前に必ずお読みください。



危険

：怠ると怪我・事故につながる注意事項を示してあります。



注意

：怠ると部品の損傷などにつながる注意事項を示してあります。

参考

：スムーズに作業を進める上でのポイントや参考となる事項を示してあります。



警告

1. 国家検定整備士資格が無い方は作業を行わないこと。

技術・知識不足等によるトラブルでの部品破損が原因で、転倒により怪我や死亡事故につながる恐れがあります。

2. 指定車両以外へのパーツ装着の禁止。

商品機能を損なう取り付け不良により部品破損が原因で、転倒により怪我や死亡事故につながる恐れがあります。

3. 商品の分解・加工・改造の禁止。

商品の機能が損なわれ、故障等により部品破損が原因で、転倒により怪我や死亡事故につながる恐れがあります。

4. ガasket・Oリングなど消耗品等は必ず新品に交換すること。

オイル漏れ等の原因になり、オイルに乗って転倒し怪我や死亡事故につながる恐れがあります。

5. エンジンオイルはHONDA純正オイルを使用すること。

指定以外のエンジンオイルを使用しますと、エンジンを破損させる場合があります。

6. 組み立て時に指示指定以外の加工・改造は行わないこと。

破損の原因となり、転倒による怪我や死亡事故につながる恐れがあります。

7. 指定商品との組み合わせ以外での組み立ては行わないこと。

破損の原因となり、転倒による怪我や死亡事故につながる恐れがあります。

8. 各取り付けボルトおよびナットは、必ず走行前に締め付けの確認をしてください。

ボルトおよびナットの破損や緩みの原因となり、部品の脱落等によって怪我や死亡事故につながる恐れがあります。

9. エンジン始動の際は、排気の良い所で行うこと。

排気ガスにより一酸化炭素中毒になる恐れがあります。

10. エンジンが完全に冷えてから作業をすること。

エンジン回転中や停止後はしばらくの間エンジンおよびマフラーは高温になっています。

・近くにガソリンなどの危険物や可燃物を絶対に置かないこと。

火災の原因になります。

・絶対に人や動物等が触れない場所に止めること。

火災の原因になります。



注意

1. 作業の際は必ず水平な場所で車体を安定させること。作業中、車体は倒れて怪我をする恐れがあります。

2. メンテナンスを頻繁に行うこと。トラブルを未然に防ぐため、定期点検をおこなってください。

3. オイルの量をこまめにチェックをすること。トラブルを未然に防ぐため、定期点検をおこなってください。



注意

慣らし運転中は、急発進・急加速などの重負荷の掛かる走行は行わないでください。

■慣らし運転終了後、エンジンオイルの交換と、異音等が無いことを確認します。

異音がでている場合は、再度エンジンを点検します。

参考

エンジンオイルは、本書指定 HONDA 純正オイルウルトラG1をご使用ください。

取り付けの際には、他のパーツとの干渉等を充分確認のうえ作業を行ってください。

※デザインおよび仕様変更・価格等は予告なしに変更する場合がございます。

※弊社の取扱説明書等十分ご確認の上ご使用ください。

※本書やWEB上でのイラスト、写真等の記載内容が本商品と異なる場合がありますので、あらかじめご了承ください。

●エンジンオイルの注入

■新品のエンジンオイルを規定量注入します。※HONDA 純正オイルを使用してください。

●各部の点検

■本商品を取り付けた後は、下記の項目に沿って点検を行ってください。

- ・エンジンオイルの量
- ・各部の締め付け(ボルト、ナットの締め忘れがないか点検します。)
- ・オイル漏れ、異音の有無と油圧(エンジン始動させ、異音がしないかオイル漏れがないか点検します。エンジンの始動と油圧の点検は、下記のエンジンの始動について」を参照してください。)
- ・その他 走行するにあたりタイヤの空気圧、ブレーキの効き具合、ブレーキパットの磨耗、ブレーキオイルの漏れ、車体廻りのボルト、ナットの緩みがないか点検してください。

【エンジンの始動について】

■焼き付き、かじり等の防止のため、シリンダーヘッドまでオイルが十分に行き渡るように、以下の手順でオイル上げ作業を行ってください。

- ・エンジンの負担を軽くする為に、スパークプラグを外した状態でクランキング(空回し)を行います。
- ・数分間放置した後、オイルレベルを点検し、オイルが足りない場合は補充します。

規定トルクについて

